

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2023/10/18

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.33	0.08
JPY/THB	0.2425	0.0001
USD/JPY	149.81	0.30
EUR/THB	38.43	0.11
EUR/USD	1.0577	0.0017
USD/CNH	7.326	0.017
SGD/THB	26.55	0.05
AUD/THB	23.12	0.13
USD/INR	83.26	-0.02
USD Index	106.25	0.01

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.855	0.000
10Y (THB)	3.283	0.000
5Y (USD)	4.869	0.153
10Y (USD)	4.834	0.128

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,922.7	1.6
WTI (Oil)	86.66	0
Copper	7,970.5	-6.0

Stock

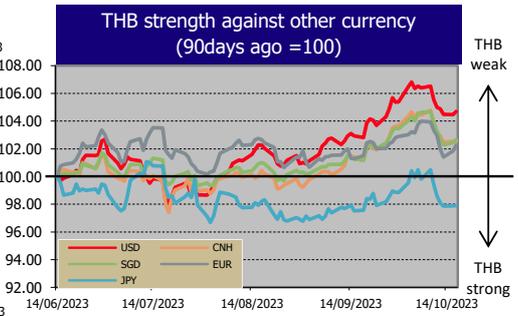
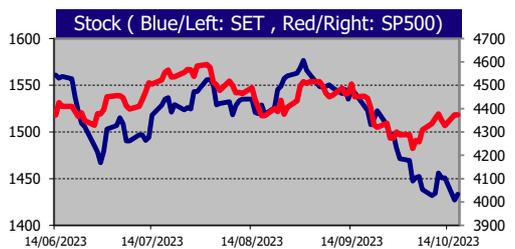
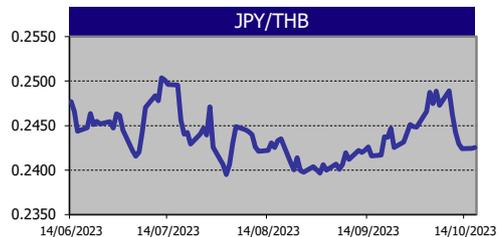
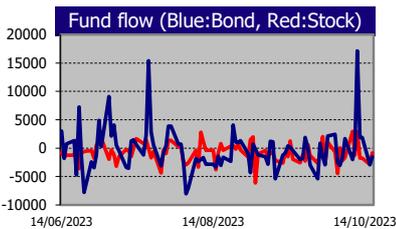
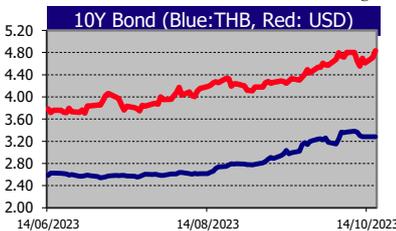
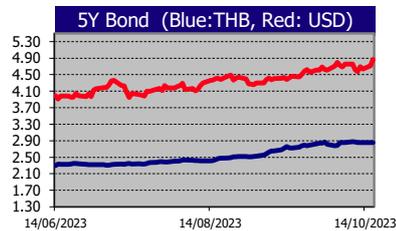
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,433.40	6.29
NIKKEI (JP)	32,040.29	381.26
DOW (US)	33,997.65	13.11
S&P500 (US)	4,373.20	-0.43
SHCOMP (CN)	3,083.50	9.68
DAX(GER)	15,251.69	13.70

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(841)	2058.9
Bond net flow	(1,474)	1436.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上に往って来いとなってわずかに上昇。36パーツ台前半で取引を開始。海外投資家勢がタイ株式とタイ債券から資金を移す動きが原因となり、ドルパーツは足早に36パーツ台半ばへと上昇。その後はバンコク時間の引け間際から海外時間序盤まで上げ幅を縮小する動きが続いた。米9月小売売上高が予想を上回り、米金利が短期主導で大きく上昇する中、再び36パーツ台半ばへ一時戻したが、結局NY時間終盤にかけて上昇分を吐き出すこととなり、前日比わずかにパーツ安の36.33レベルで終えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に上昇。149円台半ばで取引を開始し、日中は同水準を中心としたレンジ内で小動きとなった。海外時間序盤には今月末の日銀会合にて物価見通しが上方修正される見通しというヘッドラインが入り、ドル円は一時148円台へと急落するも、2025年の見通しは大きく変わらないことが判明すると巻き戻しが入った。その後は米9月小売売上高が予想を上回る強い結果を示し、米金利の騰勢が強まったため、ドル円は149円台後半へとレンジの中心を切り上げて149.81レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日発表された米9月小売売上高はヘッドライン・コアともに市場予想を上回る結果となった。月初の米9月雇用統計、先週の米9月CPIと、今月発表された同国の主要指標は軒並み堅調な結果を示した格好となり、これを受けてFF金利先物市場から見る年内の追加利上げ確率は、先週末時点では30%程度であったのに対し、足もとでは45%程度と利上げ期待が再浮上している。ただ、直近のFed高官の発言に鑑みれば、米債利回りの上昇・市場のタイト化はそれ自体が利上げと同等の効果をもたらしている、との論調も見られ、金融政策の見通しを困難なものにしている。係る状況下、やはり注目は明日予定されているパウエルFRB議長の講演となるのだろう。10月31日から11月1日にかけて開催されるFOMCIに向けて、今週土曜日からはブラックアウト期間に入るため、来週以降はFed高官からのヒントは一切与えられないことも注目度を一層高めている。今月末にかけては日米欧の中銀会合が予定されているが、昨日は日銀の金融政策に係るヘッドラインに相場が大きく振れる場面が見られる等、緊張感が高まりつつある。ドルパーツ相場においても、次第にボラティリティが高まる展開には十分警戒しておきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.